

総務文教委員会 視察報告

委員会では、五月十二日から十四日まで行政視察を行った。埼玉県川口市では「スポーツセンター建設事業」について現地調査も含めて研修した。平成二〇年に開所した戸塚スポーツセンターはアリーナを含め四つの屋内施設と温水プール。多目的のグラウンドや弓道場など三つの屋外施設を総工費、約三十八億円で建設されており、駐車場に災害用仮設トイレ四十六基が併設される等防災対策にも視点が置かれていた。



埼玉県川口市

東京都世田谷区では「中学校部活動外部指導者」について研修を行った。「部活動支援員」制度により生徒・教員が楽しく意欲的に部活動に取り組める指導体制が確立されていた。協力できる保護者・地域の方に技術指導等を依頼する有償の制度であり有意義な内容であった。

東京都新宿区では「人事考課制度」について研修した。平成七年度から試行され、十九年から目標管理型の制度が施行されたもので、職員の努力や業績を適正に評価し、その結果を任用・給与・配置管理等の処遇に反映させることを目的とした制度であった。単なる査定ではなく人材育成につながる内容であり、長年の試行が結実されていると感じた。



東京都新宿区

市民厚生委員会 視察報告

五月十九日、二十一日、三箇所の視察を行いました。

一日目は、北海道札幌市の「元気はっけん事業」を視察。働く能力がありながら就労の場所がない障がい者のため、人材派遣会社を通じて障がい者の就労支援を行っており、とても素晴らしいサポートを実施されておられました。

二日目は、北海道二セコ町の「二セコ町ふるさとづくり寄付金条例」について視察を行い、条例を制定した経緯、寄付金の



北海道二セコ町

活用や今後の課題などを聞き、行政と市民との情報の共有をし、住民参加を促すことの必要性を学ばせていただきました。

三日目は、北海道千歳市の「千歳地区SOSネットワーク事業運営協議会」について、千歳市社会福祉協議会を訪問し視察を行いました。これは、雪深い北海道ならではのネットワーク事業で、認知症のある方や障がいのある方などが行方不明になった際に備えて、地域の幅広い分野の機関や団体が事故を未然に防止し、早期発見、保護する地域の仕組みと地域福祉を推進されています。三箇所とも大変有意義な視察でありました。



北海道千歳市社会福祉協議会

編集後記

春日公園を早朝からゴミ袋と火ばさみを持ってたばこの吸い殻を拾ってくださいている、七十三歳の男性がいらっしゃいます。聞いてみると、一回りで五百四十本ほど拾うそうです。

また、散歩がてら市役所駐車場のプランターの雑草を取ってくださいている女性とも出会いました。

このようなボランティアの方のおかげで気持ちよく住める街になっているのではないかと感謝の気持ちで一杯になりました。一人一人の思いや気持ちをいつまでも大切にしていきたいものです。(幸恵)



議会報編集特別委員会

委員長	坂本 靖男
副委員長	近藤 幸恵
委員	長能 文代
委員	興國 洋